

広報

さわおとのもり

平成27年 9月 第17号

発行：特定非営利活動法人さわおとの森

発行責任者：理事長 清野 精 維

〒981-0123 宮城郡利府町沢乙字欠下東 18 番 2

Tel：022(767)4338 Fax：022(767)4347

ホームページアドレス： <http://sawaoto.jp>

秋まつり、来月 25 日に開催

さわおとの森秋まつり開催にあたって

今年9回目となるさわおとの森秋まつりは、あかいしの森が会場となります。あかいしの森を利用されている皆さまにとっては“いつもの場所”がお祭りの会場に変わり、例年のお祭りをご存知の皆さまにとっては新鮮なひと時となることでしょう。また、地域の皆さまにとっては日頃あまり入ることのない施設内をご覧ください貴重なる機会になるはずです。いつもと違う今年の秋まつりを、誰もが楽しめる特別な一日にしたいと思っています。

秋まつりでは、様々な催しをご用意しています。子どもたちの出し物に和んだり、普段と違う職員の様子に目を見張ったり、おいしいものでお腹と心を満たしたり…、たくさんの笑顔と笑い声があふれる人の輪の中で、気兼ねなく楽しんでもらいたいと思います。そして、その特別な一日が、次の日からまた始まる日常を明るく楽しく過ごしていくための糧になる、そんな秋まつりになればいいなと願っています。

今年も多大なるご支援ご協力を賜りながら開催できることに感謝しつつ、職員一同心を込めて準備を進めてまいります。多くの皆さまのご来場をお待ちしています。

実行委員長 庄司美也

さわおとの森秋まつりの概要



H26 年度秋まつりの様子

開催日時 平成27年10月25日(日) 10時~14時30分

開催場所 あかいしの森
富谷町明石台7丁目2番地1 Tel.022-725-8770

開催目的 利用児(者)並びにその家族、あるいは地域住民や関係者等に対して、この催しを通じて、楽しいひと時を過ごしていただき、今後の事業運営に理解、協力を求めるもの。

さわおとの森秋まつり in あかいしの森

今年も10月25日の日曜日には、“さわおとの森秋まつり”の秋（とき）を迎えます。今年の会場は、この春オープンしたばかりの富谷町明石台にある「こども発達センター・あかいしの森」です。

お祭りは、細長い風船をひねってイヌとかウサギとか作って見せるバルーンアートや高校生チームのダンス、さわおとの森・ひまわり園・あかいしの森合同の未就学児による歌と踊り、そして職員と来場者参加型の歌舞演芸等、ステージを使ったイベントが繰り広げられます。また並行して、焼きそば、おでん等の模擬店。バザー品の展示即売。そして、フラワーアレンジメントの手作りコーナーとスタンプラリー等々、色とりどりの出し物と催し物を職員とボランティアが何十日もかけ準備してきました。

若い人たちの新たな参加を得て、面白さ、楽しさが年々倍増してきている「さわおとの森秋まつり」に、皆様、お誘い合わせの上、賑々しくご来場いただきますよう、職員一同鶴首してお待ち致しております。

特定非営利活動法人さわおとの森
理事長 清野 精維

タイムスケジュール&ステージプログラム（予定）

時間	ステージ	バザー	模擬店	わのみ縁日	おたのしみ
10:00	開会式				
10:15	どんぐり・ひまわり・むーとん ちびっこステージ			スタート	スタート
10:45	たいそう・クイズコーナー			↓	↓
11:00		スタート	スタート		
11:30	マジックショー	↓	↓	↓	↓
12:15	バルーンアート				
12:50	※ 調整中				
13:25	ダンスパフォーマンス				
14:00	職員によるスペシャルステージ	終了			
14:30	閉会式	ステージをおたのしみください♡			

※ 9時15分より受付を開始いたします。

※ バザーは入り口前ではなく、決められた場所にお並びください。

※ ステージ、各コーナーの時間や内容については、変更になる場合があります。ご了承ください。

※ 模擬店、わのみコーナー、お楽しみコーナーは、品物（景品）がなくなり次第終了となります。ご了承ください。



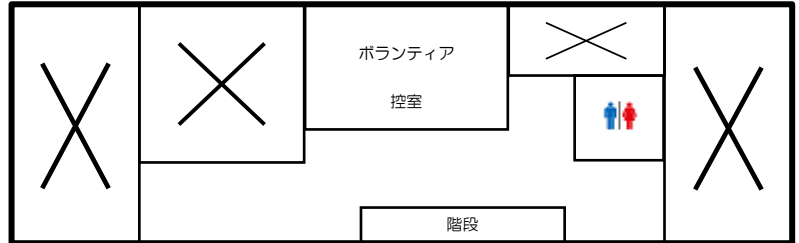
さわおとの森秋まつり会場図

場所：こども発達センター・あかいしの森（富谷町）



- ※ ×印の場所は関係者以外立ち入り禁止です。
- ※ バザーは入り口ではなく、決められた場所にお並びください。
- ※ その他分からないことがあれば、お近くの職員にお尋ねください。

《2F》



《1F》



「大切な思い」をいただく

富谷町手をつなぐ育成会より、こども発達センター・あかいしの森の開園にあたり、多大なるご寄付をいただきました。

このお金は、富谷町手をつなぐ育成会の皆様が町内に福祉施設が出来た折、役立ててもらおうという思いから、バザーなどの収益金を長年にわたり積み立ててきた、とても貴重なものとお聞きしました。

この大切な思いを、子どもたちの活動に有意義に使わせていただきたく、

8月に園庭にブランコとすべり台を設置いたしました。

子どもたちと共に、このご好意に感謝し、

大切に使用させていただきたいと思っております。

ありがとうございました。



すべての基盤は使い勝手から

近年、歩道や住宅内の段差を解消して、高齢者や障がい者が暮らしやすい生活・環境づくりがさまざまに図られている。いわゆる「バリアフリー化」だ。これは、高齢者や障害を持つ人にとって障害・バリアとなっているものを取り除き、ハンディを抱えた人でも安全で安心して生活ができることを意図する考え方である。これに対して、ユニバーサルデザイン（以下、「UD」と記す）は、年齢や性別、身体的能力の違いに関係なく、すべての人が使いやすいように、製品や建物、空間をデザインしようとする考え方である。

健常者だって使い勝手に困ることはある。UDはバリアを取り除くこと（対策的観点）から、バリアの無い社会づくり（予防的観点）を目指すことであり、すべての人を対象としている。言わずもがな、UDとは、できる限りたくさんの人に使いやすいように考えた製品や環境など、生活全般の使い勝手をできるだけ良くする設計・構想・計画のことである。

こうした動向に合わせて、我々の日々の精神活動においても鍛え直しが不可欠となってくる。自分以外の人間と関わるに際して、それぞれが、ごく自然な振る舞いで意思の疎通ができれば、こんな良いことはない。しかしながら人との接し方というのは実に悩ましい。そして多くの障壁を孕（はら）んでいる。これは多岐にわたるのでここでは例示を省く。よく世間では、人との触れ合いだとか、心の交流だとか簡単に言うけれど、思うようにいかないのが現実のようだ。

今、通所して来る子どもたちと向き合い、間合いを詰めようとしているが、我が身のセンスの無さにその距離が一向に縮まらない。どうにもならないことに少々苛立っているが、それでもこのことを彼らに気取られないようにしつつ、自らにある数多くのバリアを払拭したいと思っている。そして性懲りもなく、子どもたちとの間に1つでも2つでも「ときめきの瞬間」を共有する、“荒凡夫の夢”を追っている。（高）

<編集後記>

秋まつりが初めて“あかいしの森”で行われます。一つずつ組み立てていくのか……と期待と不安が混ざりながらも、一年の一大イベントを呑気に楽しみにしていた矢先、初の「秋まつり予告号」を発行することが決まり、急ピッチで動き出すことになりました。

短い期間での発行となったので、たくさんの方のご協力があり、ここに至ることができたこと、幸甚の至りです。

ぜひ、秋まつり当日も、皆さま楽しみに会場まで足を運んでいただけたらと思います。（上総）